鳥取県の地震

２０２３年（令和５年）５月
鳥 取 地 方 気 象 台

目　　次

（１） 鳥取県とその周辺の地震活動
震央分布図及び断面図、概況 …… １
（２） 鳥取県内で震度１以上を観測した地震
震度のリスト …… ２
震度分布図 …… ３
（３） 地震・津波の知識
気象業務はいま　2023 …… ５

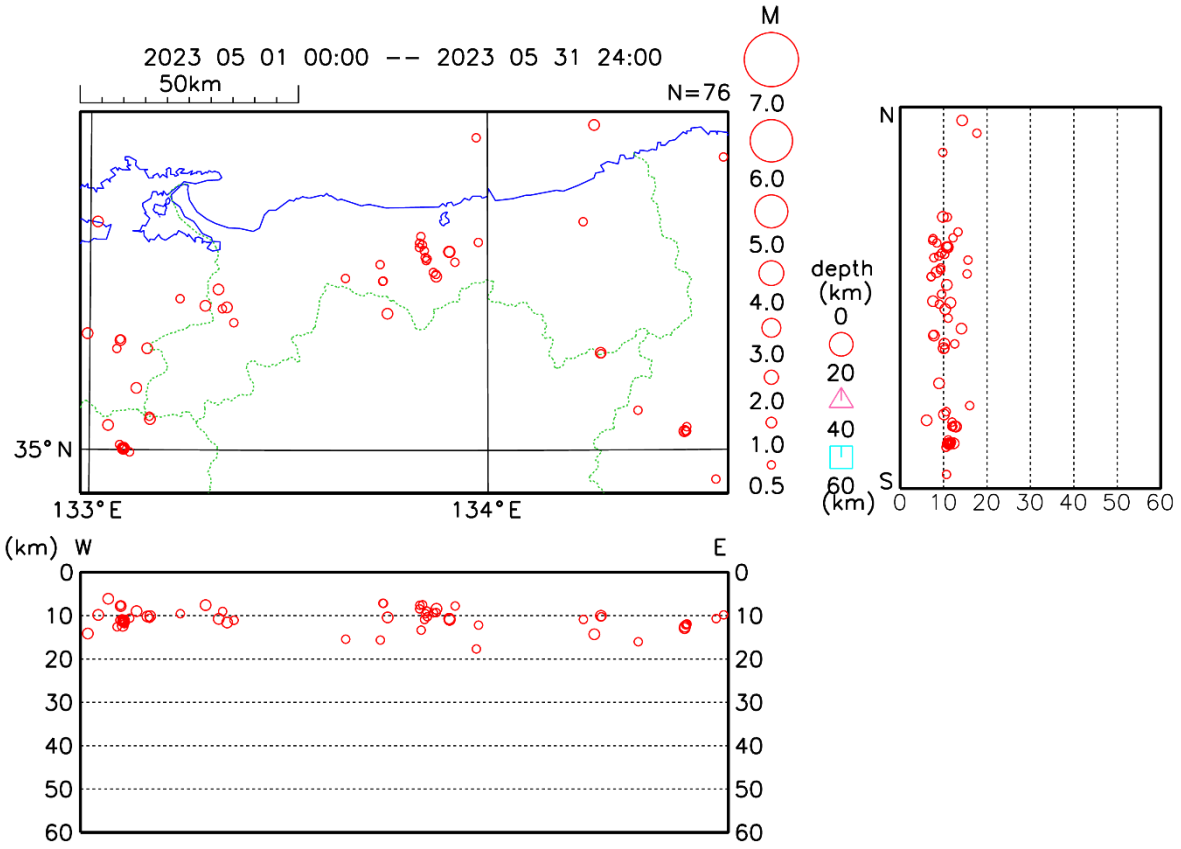
・　本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。
　また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS） の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

・　本資料の地震の震源要素、震度データ及び発震機構解等は再調査された後、修正されることがある。

＊　広域の地震については、大阪管区気象台作成の「大阪管内地震活動図」をご覧ください。
大阪管内地震活動図ＵＲＬ　https://www.jma-net.go.jp/osaka/jishinkazan/kanindex.html

（１）鳥取県とその周辺の地震活動

［震央分布図・断面図］



［概　況］

2023 年５月に鳥取県内の震度観測点で震度１以上を観測した地震は２回（前月も２回）でした。

５日 14 時 42 分 能登半島沖の地震（深さ 12km、M6.5：上図の範囲外）およびほぼ同時に発生した３回の地震により、石川県珠洲市で震度６強を観測したほか、東北・関東・東海・甲信越・北陸・近畿・中国・四国地方にかけて震度５強～１を観測しました。鳥取県内では鳥取市・湯梨浜町・北栄町・境港市で震度１を観測しました。

15 日 14 時 03 分 島根県東部の地震（深さ 11km、M3.4：上図の範囲外）により、鳥取県日南町、島根県雲南市・飯南町・奥出雲町・川本町・美郷町・邑南町、広島県三次市・庄原市・東広島市で震度１を観測しました。

上記震央分布図内において、M2.0 以上の地震は０回（前月は２回）でした。

（２）鳥取県内で震度１以上を観測した地震

［鳥取県内で震度１以上を観測した地震及び震度のリスト］

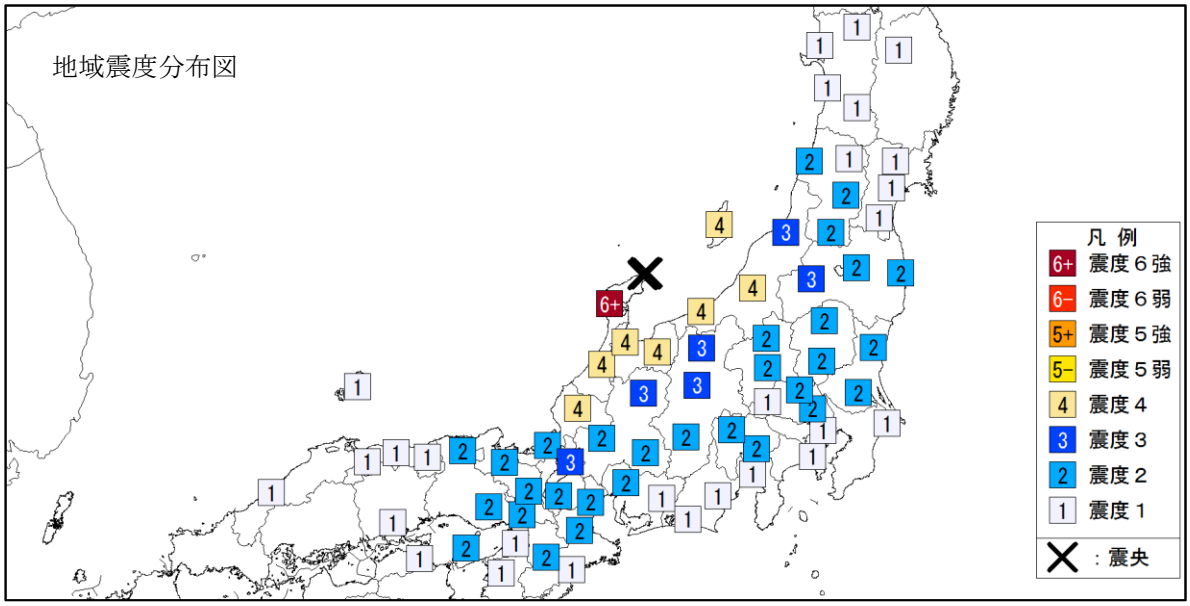
発震時（年 月 日 時 分）	震央地名	北緯	東経	深さ	ﾏｸﾞﾆﾁｭｰﾄﾞ
2023年05月05日14時42分	能登半島沖	37°32.3’N	137°18.2’E	12km	M6.5
2023年05月05日14時42分	石川県能登地方	37°31.1’N	137°18.8’E	15km	M5.4
2023年05月05日14時45分	石川県能登地方	37°30.6’N	137°15.9’E	12km	M3.9
2023年05月05日14時46分	石川県能登地方	37°31.9’N	137°19.6’E	12km	M3.1
---------- 地点震度 ----------					
鳥取県　震度１：	鳥取市吉成＊,鳥取市福部町細川＊,湯梨浜町久留＊,湯梨浜町龍島＊,北栄町土下＊ 境港市竹内町＊				
2023年05月15日14時03分	島根県東部	35°07.5’N	132°45.0’E	11km	M3.4
---------- 地点震度 ----------					
鳥取県　震度１：	日南町生山＊,日南町霞＊				

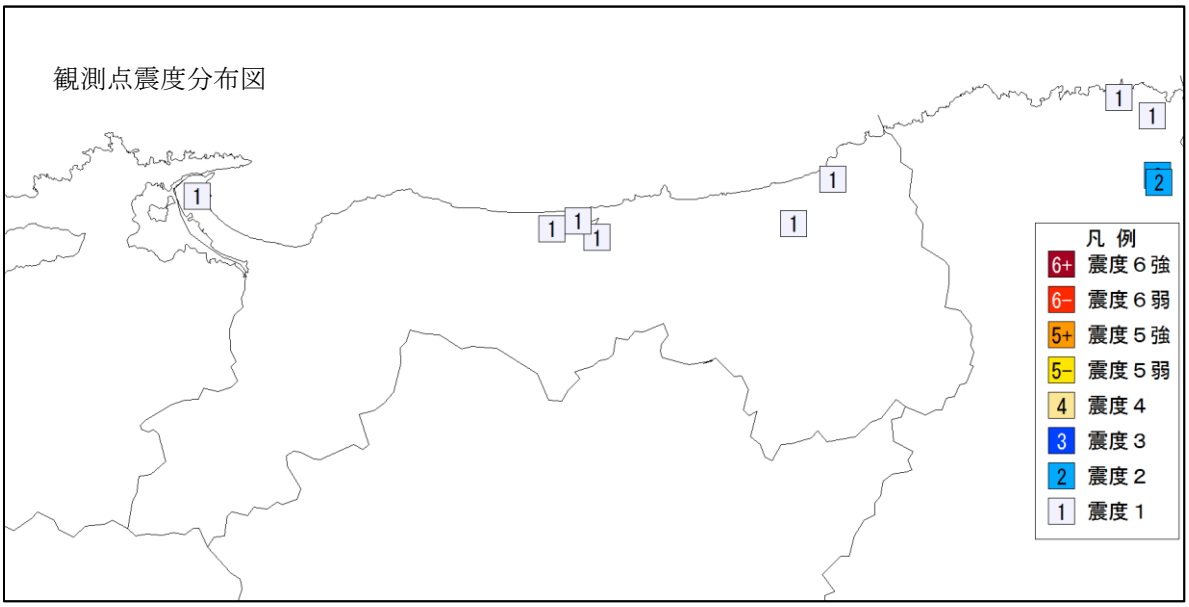
・＊印のついている地点は、鳥取県または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

・震源が複数記載されている地震は、ほぼ同時刻に発生した地震であるため、震度の分離ができないものです。

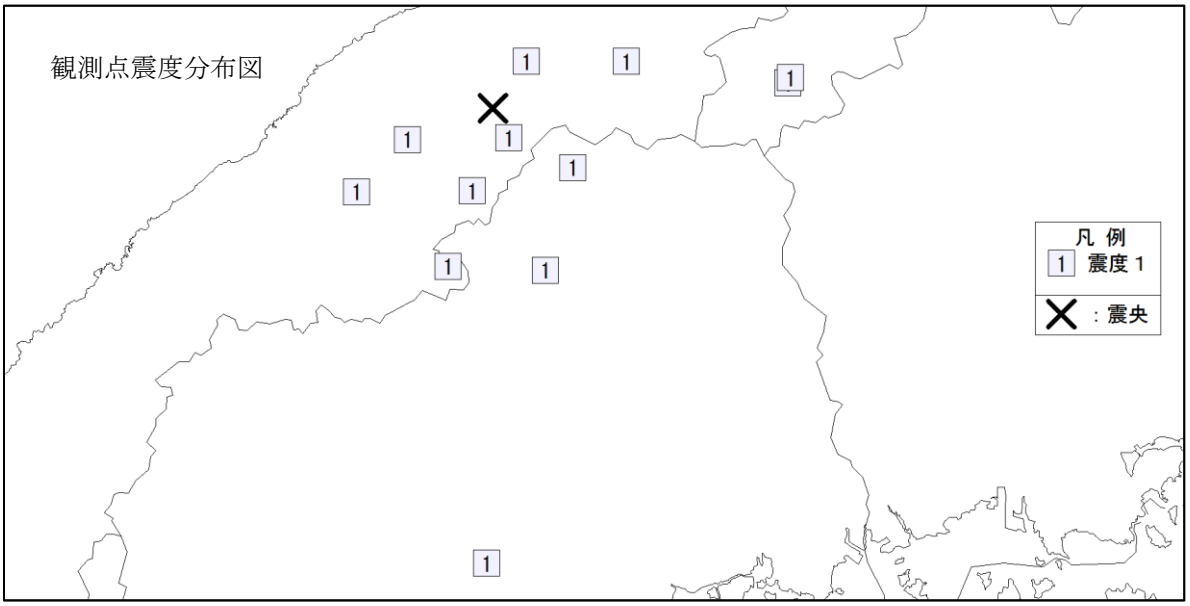
［鳥取県内で震度１以上を観測した地震の震度分布図（図中×は震央）］

2023 年 05 月 05 日 14 時 42 分　能登半島沖 等





2023 年 05 月 15 日 14 時 03 分　島根県東部



（３）地震・津波の知識

気象業務はいま　2023

気象庁では、気象庁の取り組みの現状と今後の展望など、気象業務の全体像について広く国民の皆様に知っていただくことを目的として「気象業務はいま」を毎年６月１日の気象記念日にあわせて刊行しています。

今年度は関東大震災から 100 年を迎えることから、「気象庁における巨大地震対策」について特集しています。関東大震災や、節目を迎える大震災を振り返りながら、気象庁で実施している南海トラフ沿いや日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震に関する取り組み、防災気象情報の強化や普及啓発の取り組みについて紹介しています。各方面でご活躍されている方のコラムも交え、気象庁の最新の取り組みがわかる一冊です。

「気象業務はいま」は、気象庁ホームページをご覧ください。

ホーム ＞ 各種申請・ご案内 ＞ 刊行物・レポート

https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/hakusho/2023/index.html

気象業務はいま

特集　気象庁における巨大地震対策

1　令和５年（2023 年）に節目を迎える過去の巨大地震等
　（１）関東大震災から 100 年
　（２）日本海中部地震から 40 年、北海道南西沖地震から 30 年
2　巨大地震対策
　（１）南海トラフ沿いの巨大地震対策
　（２）日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震対策
3　防災気象情報の強化
　（１）長周期地震動に対応した防災気象情報の強化
　（２）推計震度分布図の改善
4　普及啓発の取り組み

そのほかの地震活動の詳細については、気象庁ホームページまたは『令和５年５月地震・火山月報（防災編）』をご覧ください。

ＵＲＬ https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/gaikyo/index.html

問い合わせ先：鳥取地方気象台
TEL：０８５７－２９－１３１３